

特定健康診査を受診すると何がわかるの？

検査項目		基準値等(参考)	この検査で調べていること	
基本的な健診の項目 (追加健診の項目含む)	身体計測	BMI(ボディ・マス・インデックス) 18.5~24.9	肥満度判定の目安となります。 BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m) ※BMI は国際的な体格指数です。	
	腹囲	男 85cm未満 女 90cm未満	メタボリックシンドロームを判定するめやすとなります。	
	血圧測定	収縮期血圧 130mmHg 未満 拡張期血圧 85mmHg 未満	血圧の状態を調べます。高血圧は動脈硬化の原因となるので注意が必要です。 ※1回の血圧測定で血圧が高かったからといって高血圧とはいえません。定期的にチェックをしていくことが必要です。	
	尿検査	蛋白	陰性(-)	腎臓などの異常を見つけるための検査です。
		糖	陰性(-)	糖尿病発見の手がかりとなります。
	血中脂質検査	LDL コレステロール	120mg/dl未満	動脈硬化について調べます。※LDL コレステロールが増加すると、血管壁にたまり、単独で動脈硬化を進行させます。
		HDL コレステロール	40mg/dl以上	動脈硬化や心臓病について調べます。 ※血管に付着したコレステロールを運び去るのがHDL コレステロールです。
		中性脂肪	150mg/dl未満	肥満や肝脂肪、動脈硬化の原因について調べます。
	肝機能検査	AST(GOT)	31u/l 未満	肝臓や心臓の異常を発見します。
		ALT(GPT)	31u/l 未満	
		γ-GTP	51u/l 未満	肝臓病(特にアルコール性肝障害)発見の手がかりとなります。肝臓や胆道に異常があると数値が上昇してきます。
	血糖検査	空腹時血糖	血漿 100mg/dl未満	糖尿病を発見するための検査です。 ※血糖は血液中のブドウ糖を示します。
		ヘモグロビンA1c	5.2%未満	
腎機能検査	血清クレアチニン	男性 1.0mg/dl 以下 女性 0.7mg/dl 以下	タンパク質が分解されたときにできる物質(クレアチニン)の血液中の値から腎機能の異常を調べます。	
	eGFR値	60 ml/min/1.73m ² 以上	腎機能の異常を調べます。	
尿検査	潜血	陰性(-)	尿中に赤血球が混じっているか(血尿)確認して、腎臓や尿道、膀胱などの泌尿器の異常などを調べます。	
(医師の判断による) 詳細な健診の項目	心電図検査		心臓の筋肉の異常、不整脈(リズムの乱れ)、心臓肥大等がわかります。	
	眼底検査		高血圧や動脈硬化の進行度、眼球の病気、脳腫瘍や糖尿病の発見の手がかりとなります。	
	貧血検査	赤血球数	男性 400~539 万/mm ³ 女性 360~489 万/mm ³	血液中の赤血球数を調べる検査。貧血などの状態を調べます。
		血色素量	男性 13.1~16.6g/dl以上 女性 12.1~14.6g/dl以上	赤血球の酵素を運ぶたんぱく質の一種で、減少すると貧血等が疑われます。
ヘマトクリット		男性 38.5~48.9% 女性 35.5~43.9%	一定量の血液に含まれる血球の容積の割合を調べます。減少すると貧血が疑われます。	